



MK STYLE

栗原医療器械店 人材像コミュニケーションマガジン

vol.5
2022/10

2 KURIBARA's CARTE

- 4 一問一答 “自律／自立” な人の本音
- 5 栗原の週末。
- 6 About, MK STYLE

選ばれ続けるパートナーへ
株式会社 栗原医療器械店
KURIBARA MEDICAL INSTRUMENTS





ロジスティクス部
ロジオペレーション課 課長
柿沼 恵さん

みんなの“母”として、 栗原医療の成長を支え続ける

——「止まらない医療」の実現に向けて

2005年に派遣社員として入社以来、かれこれ17年以上にわたって栗原医療にお世話になっています。私が入社した頃は「従業員500名、売上500億円」を掲げていた栗原医療も、今では従業員1500名、売上1400億を超える大企業へと成長。その一端を担おうと必死にもがいていたら、いつの間にこんなところまで来ていて。本当にあっという間でした。

現在は、ロジスティクス部 ロジオペレーション課の課長として、入荷作業を行う23名のマネジメント業務を行う傍ら、新物流拠点「MADRE」の自動倉庫の安定、本格稼働に向けた調整業務を行っています。特に後者については、栗原医療のロジスティクスの要となる取り組みであり、今後もさまざまなイベントを控えていることから、早期に安定軌道に乗せて「止まらない医療」の実現に貢献していきます。

—— みんなをつなぎ、みんなで乗り越える

周囲からは、割とヘビーな仕事に見られがちですが、個人的には今の仕事を「苦勞」と感じたことはなくて。こういって、なにか綺麗ごと聞こえるかもしれませんが、仕事が大変であればあるほどその結果が楽しみだし、むしろなんだか「ワクワク」してくるんです。

これは課のメンバーにも伝えているんですけど、仕事って一人の力で押し切るより、周囲とのつながり意識した「和（輪）」の状態で取り組んでこそ、良い結果が生まれると思っています。例えその時は大変でも、愚痴を言える同僚がいて、困ったら話を聞いてくれる上司がいれば、きっとどんな仕事だって乗り越えられますよね。私が目の前の困難を楽しめるのは、きっとそうした状況で「和（輪）」の仕事で乗りきった成功体験があるからだと思うんです。

だからこそ、課のメンバーも同じように、大変な仕事も時に楽しみながら乗り越えてもらえるよう、これからも率先して社内の環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

Profile

2005年より派遣社員として倉庫業務を担当。2012年からは正社員として活躍。現在はロジスティクス部 ロジオペレーション課で20名以上のメンバーを率い、MADRE、首都圏物流センターの入荷、業務委託先管理を担当。

業務を通じて、
自分の中で変わったことは？

医療を止めない、
という自覚

物流の仕事が好きで、前職でも物流の仕事をしていました。しかし、栗原医療へ入社後は「自分の仕事が生かす人の命に関わること」を強く実感するようになりました。医療を止めないために、強固なバックヤード（土台）にすることを意識するようになりました。

仕事において、
最も大切にしていることは？

感謝と成長。
一歩でも前へ

常に感謝をすること。そして、少しでも成長すること。大変な状況乗り越え、経験を積んでいけば、必ず成長できます。一歩一歩確実に前に進んでいくことを意識するよう、チームの皆さんにも伝えていきます。

あなたの強み、弱みは？

つながり、寄りそう
リーダーシップ

強みは、MK STYLEにある「導く」のリーダーシップだと思います。「つながりながら「寄りそって」いくことを意識しています。逆に、「変化」し続ける（継続）ことには、難しさを感じています。

もし、栗原医療にいなかったら
何をしていた？

人を育てることが
好きなんです

小さい頃は、保育士になりたいと思っていました。人を育てることが好きだったのかもしれませんが。学生時代にソフトボールをしていたこともあり、チームで目標に向かうのが大好きなのは、今の仕事にもつながっていると思います。

柿沼さん

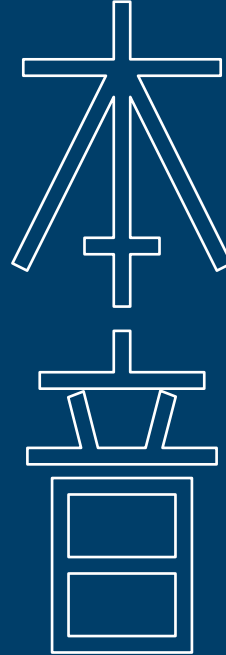
の
本音



一問一答

自律／自立

な人の



一問一答形式で、
仕事やプライベートにまつわる
本音を伺いました。

< 3 >

栗原の週末。

「MK STYLE」を実践する皆さんに、
週末の過ごし方を伺いました！

仕事を頑張るために、
週末はリフレッシュ！



ロジスティクス部
ロジオペレーション課 課長
柿沼 恵 さん

月に1回程度、ネイルサロンやエステサロンに通っています。ネイルサロンで手元を綺麗にして気分をリフレッシュしたり、エステサロンで日々の体の疲れを癒しています。週の後半になると体がガクガクになります。週末にリフレッシュすることで、「月曜からまた仕事を頑張ろう」といった気持ちになります。また、以前は年に一度韓国旅行に出かけていました。コロナを気にすることなく韓国旅行に行けるようになったら、本場の美味しい韓国料理をたくさん食べたいです。

About,

MK STYLE

栗原医療器械店が掲げた新たな人材像「MK STYLE」。

策定に関わった人たちに、込められた思いやそのこだわりを伺います。

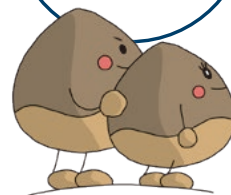
PART

04

寄りそい、つながり、導く

寄りそい

相手に寄りそい、
前を向く



つながり

周囲を惹きつけ、
つながり、進む



導く

一步踏み出し、
仲間を導く



寄りそい、つながり、導くことで、栗原医療はもっと強くなる

「寄りそい」「つながり」「導く」に
込められた思いを教えてください。

この言葉は「チームで働く力」と「選ばれ続けるパートナー」につながります。チームで成果を出すには、相手の立場で物事を考え、仲間同士で支え合い、そして時には、周囲を巻き込んでいくことが必要なのです。社内のみならず、地域の方々・関わる方々に寄りそい続ける企業を目指します。

「挑戦し、変化し、楽しむ」と
「寄りそい、つながり、導く」の関係性について教えてください。

9つ+1の行動指針は、一連の流れとして捉えてください。まず「気づき」「学び」「考える」で、自分自身で思考を循環させ、その先で主体的に行動した結果「挑戦し」「変化し」「成長する」につながり、「寄りそい」「つながり」「導く」というチームで動く力へとつながります。

「寄りそい」「つながり」「導く」の
実践には、どんなことを意識し、
挑戦すれば良いのでしょうか？

困っている人、悩んでいる人、つらい思いをしている人が周りにいたとき、手を差し伸べ、話を聞いて、共感をすることが1番大切です。そこから心がつながっていき、「仲間」として一緒に考え、一緒に少しずつ前を向いて歩いていくことができるのです。

「寄りそい」「つながり」「導く」に
挑戦することで、
栗原医療はどう変化するのでしょうか？

一人ひとりが「寄りそい」「つながり」「導く」を実践することができれば、「個人」が「組織」が、そして「会社」が強く成長することができます。どんな従業員も、どんな環境であっても、継続的に強い組織を存続させることが栗原医療の強みとなるでしょう。